

(様式1)

「家庭学習MGC」実践例

志布志市
教育委員会

潤ヶ野小学校 5・6年



○ 家庭学習の基本的な考え方

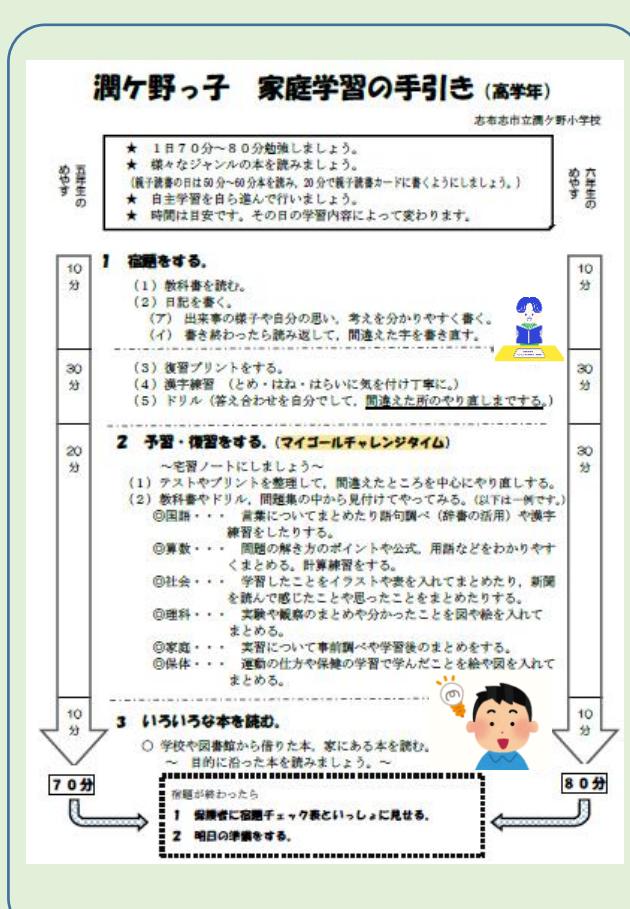
★ 自分に合った家庭学習計画を立てましょう。

★ 学校から出された課題をもとに、家庭学習の計画を立てましょう。

★ タブレットを使用する時は、「持ち帰りルール」を守って、「安全・安心・快適」に使用しましょう。

★ 補充学習に、学習支援アプリや学習者用デジタルコンテンツを活用しましょう。

★ 計画を立てて、取り組んだことは、家族や先生に見てもらいましょう。



○ MGCの取組

【小学5年生 社会のMGC】

米作りをする人々の思いについて理解を深めるために、米を作る家族へのインタビューに取り組んだ家庭学習

★家庭学習の過程

- (1) 学校から出された課題に取り組む（音読、日記、プリント等）
- (2) マイゴールチャレンジに取り組む
 - ① あらかじめ考えていたインタビュー内容について、家族にインタビューを行う。
 - ② インタビューを行った後、さらに聴いてみたいことを質問する。
 - ③ 学習支援アプリを活用し、米作りについての知識を深める。
- (3) 学習した内容を、家族に知らせる。
- (4) 関連する本や教科書、資料を読んだり、インターネットで調べたりする。

★学校の関わり

- (1) 授業で学んだ米作りについて、疑問に思っていること、米を作っている方にさらに聞いてみたいことを考えさせる。
- (2) 学習支援アプリの該当チャプターを紹介し、必要に応じて、補充問題や動画解説を視聴するように指導する。

★保護者（祖父母を含む）の関わり

- (1) 児童からインタビューを受ける。
- (2) 見届けをする。（讃める、励ます、自信をもたせる）

★実践の様子（児童と保護者のやりとり）

児童：何時ぐらいに田んぼに行っていますか。

保護者：5時か5時半。田植えから稲刈りまでの期間は毎日行っている。

児童：米を作るのを嫌だと思ったことはありませんか。

保護者：田んぼがある家に産まれた運命だと思って頑張っている。自分の親もそうやって米作ってきてくれた。

★成果

- 普段以上に、家庭学習に主体的に向かう姿が見られた。
- マイゴールチャレンジに取り組んだ内容は、授業での主体性も高まった。
- 保護者に関わってもらうことができ、自信がついた。

★課題

△ 保護者の関わりについて、加重負担にならないように程度を見極める必要がある。



「家庭学習MGC」実践例

東串良町
教育委員会

東串良中学校 1年

○ 家庭学習の基本的な考え方

★ 自主的・主体的に学ぶ姿勢を育てる。

- 苦手教科や不得意分野など、自分でテーマや課題を決めて自主的・主体的に学習する。

★ 日々の学習の積み重ねを大切にすることで、学習習慣を身に付ける。

- 毎日の継続的な取組が、学力の定着につながる。

★ 振り返りや自己評価を取り入れる。

- その日の学習内容や理解度を自分で確認し、次につなげる。

★ 1年生90分、2年生120分、3年生150分の家庭学習を奨励。

- 時間は目安（中学校で理解を深めるために必要な時間）であり、学習の内容や質にこだわる。

学習者主体の授業（数学科）と関連した家庭学習（自学ノート）

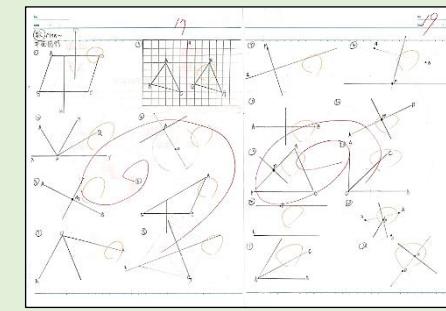
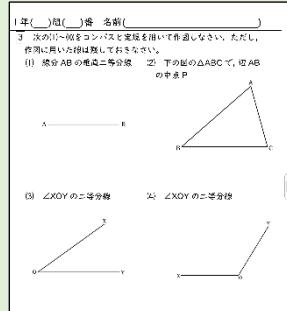
題材：平面図形

内容：角の二等分線、垂線、線分の垂直二等分線の作図

めあて：基本的な作図の方法を理解し、活用できるようになる。

★ 家庭学習用プリントを作成・配布し、基本的な作図

方法の定着を図った。



○ MGCの取組

【中学1年 数学科のMGC】

基本的な計算力を高めるために、自学ノートに取り組んだ家庭学習

★ ポイント

本校では全学年で自学ノートに取り組んでいる。1年生でも中学校生活に慣れてきた5月からスタートし、1週間に5ページ取り組むこととしている。特に教科の指定は行わず、自分の苦手な教科や単元、当日習った学習内容などを積極的に進めている。

チェックは担任だけでなく、学年部の職員6名で担当を決めて確認をしている。毎週金曜日には、学年主任がチェックし、うまく進められていない生徒への支援を行っている。

その中で、生徒が「何に取り組んでいいか分からない」という生徒の声から、数学科では、学習支援アプリを活用して、計算問題を配信している。

1学期は合計で大問1～44まで準備した。

計算力を伸ばそう！継続は力なり

計算トレーニング
1 小学校の四則計算

計算トレーニング
2 正負の数の加減

計算トレーニング
3 正負の数の乗除

計算トレーニング
4 いろいろな計算

計算トレーニング
5 超難問

小学校で習った計算問題もあり、苦手な生徒にも取り組みやすくした。

「超難問」と題して、難関私立高校の入試問題などを提示し、学習意欲を高める工夫をした。

解答
1 小学校の四則計算

解答
2 正負の数の加減

解答
3 正負の数の乗除

解答
4 いろいろな計算

解答
5 超難問

生徒は、MGCの活動により、計算問題に積極的に取り組む姿が見られるようになった。学校に登校したらすぐにタブレットを起動させ、計算問題に取り組み、自学ノートを決められたページ以上に進める生徒が増加した。

5月に行った計算問題中心の単元テストでは、平均点が90点を超えるなど、確実に計算力を高めている。

「家庭学習MGC」実践例

錦江町
教育委員会

大根占小学校 6年

○ 家庭学習の基本的な考え方

家庭学習のねらい ⇒ 「基礎学力の定着」と「自ら学ぶ習慣づくり」

家庭へのお願い ⇒ 「意欲」と「集中力」を高める環境づくり

★ 学習への意欲をもたせるために

- ・学習を始める時間になったらテレビのスイッチを切る。
- ・すぐに取りかかる易しい学習から始める。
- ・できることからはじめ、途中でつまずいたり分からなかったりしたら、問題は次の日学校で質問できるようにする。

★ 学習に集中させるには

- ・おやつは学習が終わってからにする（ながら学習はさせない）。
- ・机の周りには、学習に必要でない物を置かない。
- ・時計を利用する。「正しく」「早く」「丁寧に」をめあてにする。
- ・「始まり」の時刻を守らせる。

年度初めに子供に説明する手引 (R7年4月)

錦江町立大根占小学校

家庭学習の手引き（高学年）



【学習時間のめやす】	
☆ 5年生・・・70分	6年生・・・80分
※ 中学校では、最低2時間の家庭での学習時間が必要になります。徐々に時間を増やしていきましょう。	
【ポイント】	
1 学習しやすい雰囲気をつくりましょう。	○ テレビを見ないでしない。 ○ 学習用具の整理整頓に心がける。 ○ 前日に時間割と学習用具をそろえる。 ○ テレビを見る時間を見つける。
2 規則正しい生活をしましょう。	○ 着替えをする。 ○ 朝食は必ず食べる。
3 学習のじめとおわりのじごくを話し合ってきましょう。	○ 同じ時間帯に学習する習慣をつけましょう。 ※ 同じ時間帯に学習する習慣をつけましょう。 ※ 休日は午前中すばらしが望ましいです。
おわり 時 分	おわり 時 分

家庭では励ましと称賛を

☆ 子どものがんばりを認め、励ますことが 子どものやる気につながります。 ぜひ、見届けをしてください。	「よくがんばったわ!」 「一生懸命勉強できたね。」 「今日は字が丁寧だね。」など
---	--

○ MGCの取組

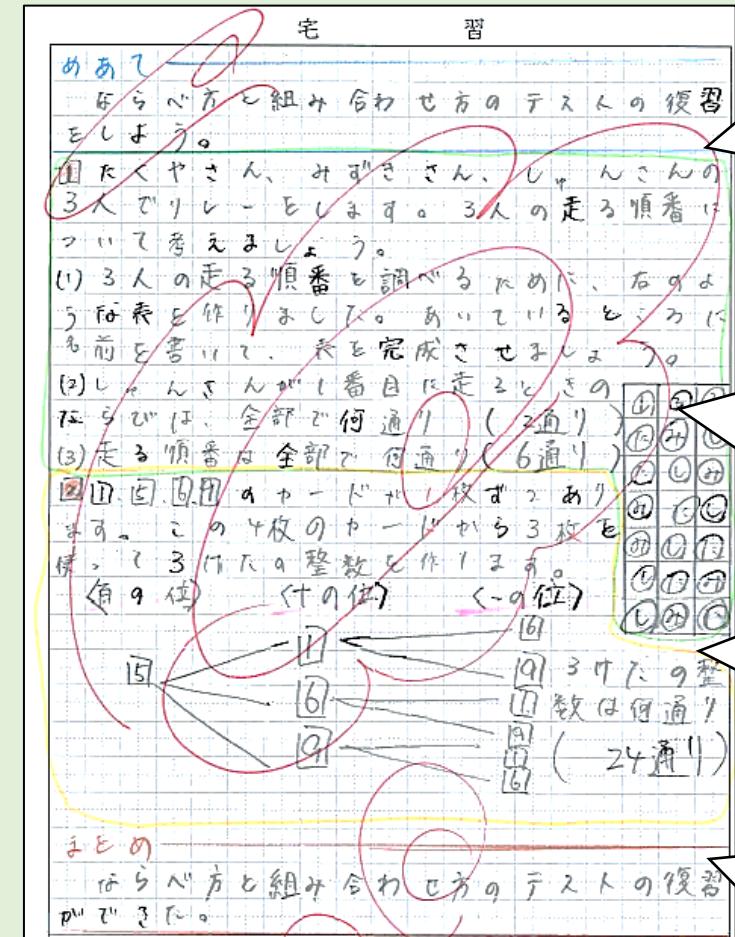
【小学6年 算数科のMGC】

確実な理解にとるために、「めあて」を立てて取り組んだ家庭学習

★ポイント

その日の学習における「めあて」(MG) を設定し目的意識をもって家庭学習に取り組んでいる。

○ 単元テストで間違えた問題を家庭学習で復習し、確実に理解しようとしている児童の例



宅習の「めあて」(マイゴール)を設定することで、目的意識をもって取り組むことができる。

単元テストで間違えた問題に再チャレンジすることで、なぜ間違ってしまったのかを再確認するとともに、確実に定着できるようとする。

図や表もしっかりと描くことで確実な定着につながっている。

「まとめ」で、マイゴールを達成できたかを振り返ることで自己分析ができる。

「家庭学習MGC」実践例

南大隅町教育委員会

神山小学校 5年

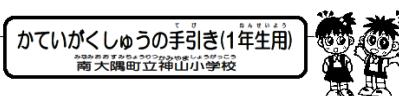
○ 家庭学習の基本的な考え方

★ 各学年の平均的な学習時間の設定

【1年30分 2年40分 3年50分
4年60分 5年70分 6年90分】

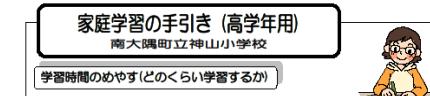
★ 学校で、音読カードを作成する。学習後に保護者の見届け及びサインをもらい、毎日提出する。

★ 今日、学習したことの復習を基本的に行う。



かくしゅうじかんのめやす(どのくらい) かくしゅう するか

- ★ 1年生・・・30分
- ★★ 体操のうちにもなどとも、まわられ、時間ははっておくようにしよう。
- ★★ がくしゅうじかんのはじめとおわりのじこく
- ★★ 習子は語り合って学校から帰ったら夕暮までにまとめるようにしよう。
- ★★ 休みの日は午前中にまとめるよ。
- がくしゅうのはじめ 時 分 ~ がくしゅうのおわり 時 分
- ※ しづかな場所で集中して学習しよう。
- がくしゅうのメニュー
- ★★せんせいが だす しゆくだい
- にきき、自分のことをその日のうちに書きましょう。
- あんどく・こくごのようかしょを声に出してよみましょう。
- ひらがなかたかな、漢字の練習
- ひらがなやかたかな、漢字ノートにれんしゅうしましょう。
書き直しに気をつけていねに書きましょう。
- ドリル・プリント
- 先生から出された国語や算数のプリント、ドリルの問題にとりくみましょう。
- ★★こんながくしゅうもしてみよう
- ☆ 先生からの宿題がないときや、時間にゆとりがあったとき、自分なりに各教科の学習に取り組んでみましょう。
- (国語) 書...一日の中に、好きな本をじっくり読む時間を設定してみましょう。
- (算数) 読書ページ、教科書の中の難しい言葉を書いて調べよう。
- (社会) 大きな図を見ながら、自分が何を理解できましたか。
- (英語) 文章を読み、簡単な文が何を意味しているか理解しましょう。
- (音楽) 音楽ドリルをやって、ノートで漢字歌をしてみましょう。
- (美術) 畫をやめ、ははい、見るついで、いいふに書きましょう。
- (計量) ドリルをやって、宅配・ノート等で計算题をしてみましょう。
- (○プリント) 先生から出された各教科のプリントに取り組みます。分からなかった問題は、次の先生や友達に質問して、自分で分かるようになります。
- ★★こんな学習もしてみよう
- ☆ 先生からの宿題がないときや、時間にゆとりがあったとき、自分なりに各教科の学習に取り組んでみましょう。
- (国語) 書...一日の中に、好きな本をじっくり読む時間を設定してみましょう。
- (算数) 読書ページ、教科書の中の難しい言葉を書いて調べよう。
- (社会) 大きな図を見ながら、自分が何を理解できましたか。
- (英語) 文章を読み、簡単な文が何を意味しているか理解しましょう。
- (音楽) 音楽ドリルをやって、ノートで漢字歌をしてみましょう。
- (美術) 学習したことを振り返しながら、教科の問題を確認してみましょう。
- (計量) ドリルや問題集などの問題を、たくさん解いてみましょう。
- (○プリント) 学習したことを振り返りながら、プリントに取り組んでみましょう。
- ★★保護者の方へ
- 家庭学習、皆の成長を、かりて力を読みましょう。
- ※ 保護者の力へ...子ども達の成長を認め、励ますことが子どものやる気につながります。ぜひ、見聞力をしてください。



学習時間のめやす(どのくらい) 学習するか

★ 5年・・・70分 6年・・・80分

学習の開始・終了の時刻

★ 毎日、同じ時間帯に学習する習慣を身につけることが大事です。

※ 平日は朝食時に、休みの日は午前中に済ませましょう。学習の始めと終わりの時間について、親子で話し合いましょう。

学習の始め	学習の終わり
平日 時 分	時 分
休みの日 時 分	時 分
時 分	時 分

静かな場所で集中して学習しましょう。

テレビを見ながら、音楽を聴きながら勉強はやめましょう。

学習のメニュー

★★先生が出す宿題

○日記...日々の出来事に毎日で書いて、表現力の向上をねらいます。授業で習った漢字を使って文を書くようにしましょう。

○音楽...音楽で覚えている歌の歌詞を読みましょう。毎日取り組むと、読む力の向上ができます。歌詞がついています。

○国語...漢字ドリルをやって、ノートで漢字歌をしてみましょう。

○算数...書き直しやめ、ははい、見るついで、いいふに書きましょう。

○英語...ドリルをやって、宅配・ノート等で計算題をしてみましょう。

○プリント...先生から出された各教科のプリントに取り組みます。分からなかった問題は、次の先生や友達に質問して、自分で分かるようになります。

★★こんな学習もしてみよう

☆ 先生からの宿題がないときや、時間にゆとりがあったとき、自分なりに各教科の学習に取り組んでみましょう。

(国語) 書...一日の中に、好きな本をじっくり読む時間を設定してみましょう。

(算数) 読書ページ、教科書の中の難しい言葉を書いて調べよう。

(社会) 大きな図を見ながら、自分が何を理解できましたか。

(英語) 文章を読み、簡単な文が何を意味しているか理解しましょう。

(音楽) 音楽ドリルをやって、ノートで漢字歌をしてみましょう。

(美術) 学習したことを振り返しながら、教科の問題を確認してみましょう。

(計量) ドリルや問題集などの問題を、たくさん解いてみましょう。

(○プリント) 学習したことを振り返りながら、プリントに取り組んでみましょう。

★★保護者の方へ

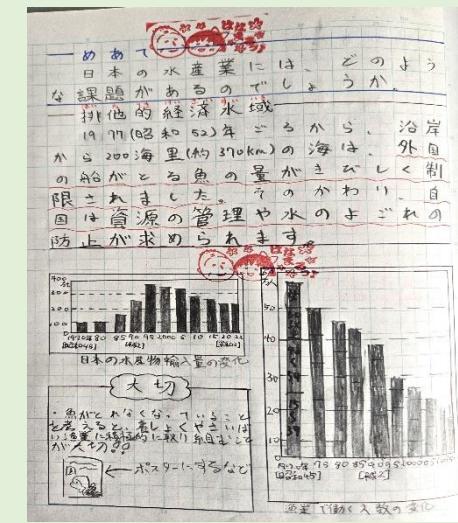
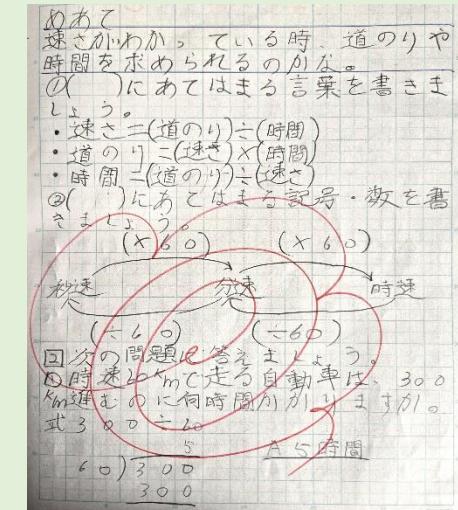
家庭学習、皆の成長を、かりて力を読みましょう。

※ 保護者の力へ...子ども達の成長を認め、励ますことが子どものやる気につながります。ぜひ、見聞力をしてください。

○ MGCの取組

【小学5年生のMGC】

今日学習した内容を思い出し、定着を図るために、アクティブリコール(思い出す活動) 学習に取り組む家庭学習



○ 宿題(学校から指示された課題)をやり遂げたり、漢字練習や音読、計算練習を継続的に取り組んだりする。

○ 授業で分からなかった問題を解いて、今日学習した事を思い出す活動をする。

○ 教科書やノートを読み返して、授業で学んだことを「自主学習ノート」にまとめること。

○ 家庭学習に余裕があれば、次の授業で学習する内容を予習してみること。

○ 教科で学習したことを生かして、発展的な学習に取り組む。

- ・ 国語の時間に学習した、教科書教材とテーマが同じ本を読んでみる。

- ・ 体育の時間に学習した運動を取り入れた体力づくりを家庭で実践してみる。

○ 授業の内容や日常生活で気になることや興味のあることについて、図書館や博物館などを活用しながら、探究してみること。

(様式 1)

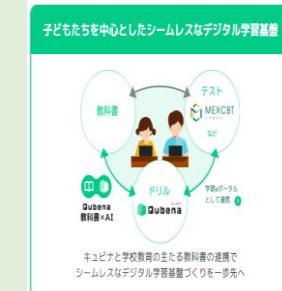
「家庭学習MGC」実践例

肝付町
教育委員会

岸良学園 後期課程

○ 家庭学習の基本的な考え方

- 1 セルフマネジメントとして週単位等で家庭学習の計画を立てる。（主体的思考）
【学習者主体の授業との関連：子供が自ら問い合わせる】
- 2 AIドリルを中心とした家庭学習に取り組む。（ICTの活用）
【学習者主体の授業との関連：子供が解決の方法を見通す】
- 3 新たな問い合わせを探究し、進路や生き方につなげる振り返りを行う。（自己実現）
【学習者主体の授業との関連：子供が自らの学びを振り返り、次に生かす。】



- 1 セルフマネジメント⇒「自己成長を促す教育用手帳（スケジュール帳）」の導入
 - (1) 毎日の計画・持ち物・提出物を自己管理し自己調整力を育成する。
 - (2) 週毎に勉強・部活等の計画や目標、具体策を記入する。
 - (3) 週末の振り返りを翌週への目標設定につなげることで、Plan-Do-Check-Actionが行いやすい。

- 2 AIドリルの活用
 - (1) 学習eポータル+AI型教材は、児童・生徒一人一人の習熟度に合わせて最適な問題を出題するアダプティブラーニング教材である。
 - (2) 授業の学びを個別最適に理解・定着でき、授業の進度に応じた予習復習に活用できる。
 - (3) 授業・家庭学習において一貫した学習が可能になる。

○ MGCの取組

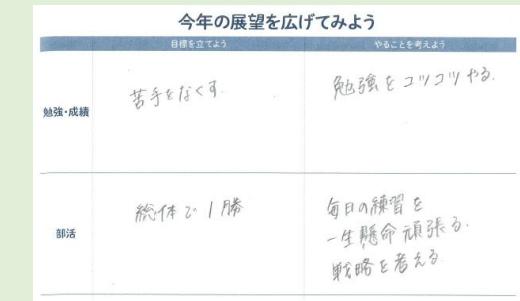
【岸良学園後期課程 9年生のMGC】

「自分で学ぶ力」を身に付けるために、スケジュール帳とAIドリルを活用した家庭学習

- 1 「自己成長を促す教育用手帳（スケジュール帳）」を活用する中で、自ら学習や部活動等の目標を設定したり、年・月・週単位の計画を立てたりしながら主体的に考え行動する。

自分の気持ちや行動をコントロールさせることで、自己調整能力の向上をねらいとする。

目標設定



スケジューリング



- 2 「AIドリル」を活用した「マイゴールチャレンジ」

- (1) 今日の授業で学習したことを復習し、自分の学習や取組を振り返りながら、AIドリルの設定（内容設定や時間設定等）をすることができる。
- (2) 学習内容の定着が自分で即座に分かるため、学習内容等をもう一度整理したり、練習問題や発展問題に自らの意志で取り組んだりすることができる。
- (3) 学習が終わったら、その日の取組の内容や方法を即座に振り返ったり、家族や先生、友達と共に共有・相談したりして、翌日の授業や家庭学習につなげる。

